社外取締役メッセージ

しなやかに市場と向き合いながら経営を進化させて欲しい

鵜澤 静
社外取締役

社外取締役として当社の経営に参画する機会を得て4年が経過しました。その間、取締役会で議論すべき案件を整理したり、社長の諮問機関である経営会議への任意参加が可能となったり、取締役会の進め方や議論のあり方を含め、着実に進化していると実感しています。私はこれらの会議を通して自らの経営経験を踏まえて発言しており、特に海外投資案件では、失敗・成功事例での留意点の確認などお役に立っていると自負しています。また、役員報酬制度の改定にあたっては、変動部分を大幅に増加させ、経営の結果が株式報酬に影響するなど経営陣に覚悟をもっていただき改定しました。

社長の肝いりで進めたグループ重要事項（マテリアリティ）の特定は、グループ戦略会議でも議論を行いました。この会議には経営陣に加えて各事業会社の幹部社員の一部も参加しており、経営の方向性を共有するといった点で良い機会になると同時に、指名諮問委員会の委員長の立場としては、次世代人財の見極めにも役立っています。

グループ重要事項の施策は、シンクタンクや外部有識者も交えて、客観性や専門性の観点から外部異見を尊重しつつも、経営の最終責任は経営陣にあるとの気概を持って進めて頂きたいと願っています。

新型コロナウイルスにより、ビジネスのありようが急変しました。この中にあって、冷凍食品・低温物流の二本柱は社会のインフラとして重要な機能を有し他のビジネスより軽微な影響に留まっています。しかしながら、繊維産業の盛衰を身をもって経験した者として、大黒柱がしっかりしている間に次世代のキャッシュカウを見つけ、育てることも必要と考えます。懸案の海外売上の伸長、時代が要請するバイオサイエンス事業など、しなやかに市場と向き合いながら経営をさらに進化させて行って欲しいと思います。当社が、必要とされる存在であり続けるために応援団として、時にはうるさい存在として関わっていければ幸いです。

食はおいしさ、楽しさといった豊かさをもたらし、人々の幸福感につながります

昌子 久仁子
社外取締役

マテリアリティは、ニチレイの覚悟を示す「道しるべ」です

鰐渕 美恵子
社外取締役

ニチレイグループは、生活者に近い企業であり、お客様からの信頼で成り立っています。

ガバナンスやマネジメントは、外部の専門家の支援を受けながら取締役会の運営状況等の自己評価を行い改善したり、指名諮問委員会・報酬諮問委員会の委員長が社外取締役であったり、早い速度で着実に改革されたと思っています。

グループ長期経営目標「2030年の姿」の実現に向けて、マテリアリティは2017年に制定したCSR基本方針「ニチレイの約束」から議論を重ねました。持続可能な社会の実現に向かって食と健康を支える企業としての役割を果たすため、すべてのステークホルダーの皆様への理解を深めていく努力をしています。そのうえでマテリアリティの特定を有識者とのディスカッションを経て、取締役会にて承認しました。この決定はニチレイの覚悟を示す「道しるべ」となり、社員一体となって進む方向性を示す大きな一歩となりました。

社外取締役の役割は、社内とは違う専門性のある意見を求められることだと考えています。私は女性であり、中小企業会社経営者であり、どちらかと言えば消費者に近い立場にいます。社内で気が付かないことを、買う立場・使う立場からの視点でお役に立てればと思っています。

すべての点検を終え飛び立つばかりの飛行機だったニチレイが、コロナという視界不良の雲が漂う中、もう一度針路やグローバル展開、気候変動のリスク等を考えなければなりません。代表取締役社長のリーダーシップのもと、グループ隅々まで強い絆で一丸となり改革に向かって欲しいと思います。

豊かな食生活と健康を支えつづける、という当社のミッションは素晴らしいと思っています。医療のビジネスに長く携わってきましたが、今は人々の健康を、医療からヘルスケアという視点でとらえることが大事であると考えています。ヘルスケアには食が重要な位置づけとなります。さらに食はおいしさ、楽しさといった豊かさをもたらし、それは人々の幸福感につながると考えています。

そのために同時に忘れてならないのは、環境への配慮、品質・安全性、エシカルだと思います。今回特定されたマテリアリティはそれらを踏まえた攻めと守り、人財への言及も併せてバランスされた内容になっていると思います。これからは各事業がマテリアリティの具現化に向けて取り組んでいくことになりますが、社外取締役として客観的にその進捗をフォローしていきたいと思います。

当社の取締役会はオープンで自由闊達な議論の場になっており、社長の諮問機関である経営会議への参加も認められています。また、指名諮問委員会や報酬諮問委員会でも忌憚なく意見を述べる機会が与えられています。それらを通して、経営の健全性、透明性が確保されています。今後は社員の皆さんの意見を直接お伺いする機会として各地域の拠点や工場に出かけていきたいと思います。

この先、ますます食と健康に大きな関心が寄せられてくることでしょう。ニチレイグループの社員すべてが“豊かな食生活と健康を支え続ける”ことに誇りをもって仕事に取り組んでいただくことをサポートしていくとともに、これまでの経験を活かして会社の成長に寄与したいと思います。